

ワクチン接種状況

生年月日	接種状況	1回目	2回目
昭和37年4月1日以前	✖	風疹ワクチンの定期接種は行われていなかったが、多くの人は自然感染によって免疫がある。	—
昭和37年4月2日～ 昭和54年4月1日生	▲	中学生の時に女性のみを対象として、学校で風疹ワクチンの集団接種が行われていた。定期接種制度が無かったため、風疹の免疫がない人が多い。	—
昭和54年4月2日～ 昭和62年10月1日生	▲	男女とも中学生の時に風疹ワクチンの予防接種を受ける対象になっていたが、集団接種から個別接種に変更されたため、接種率が低く風疹の免疫がない人が多い。一部1歳から6歳までのどこかで1回目のMMRワクチンを受けた人もいる。この世代全員が、平成13年11月7日～平成15年9月30日まで経過措置の対象となった。	—
昭和62年10月2日～ 平成2年4月1日生	▲	男女とも1歳から7歳半までに風疹ワクチン、あるいは1歳から6歳までにMMRワクチンを受ける対象となった。接種率は比較的高いが、自然に風疹に感染する機会が少なくなったため、接種を受けていない人は風疹の免疫がない人が多い。	—
平成2年4月2日～ 平成7年4月1日生	▲	1歳から7歳半までに1回目の風疹ワクチン、あるいは1歳から6歳までに1回目のMMRワクチンを接種。	高校3年生（18歳になる年度）でMRワクチンを接種。
平成7年4月2日～ 平成12年4月1日生	○	1歳から7歳半までに1回目の風疹ワクチンを接種。	中学1年生（13歳になる年度）でMRワクチンを接種。
平成12年4月2日～ 平成17年4月1日生	○	1歳から5歳までに1回目の風疹ワクチンを接種。	小学校入学前1年間（6歳になる年度）でMRワクチンを接種。
平成17年4月2日生	○	1歳時にMRワクチンを接種。	小学校入学前1年間（6歳になる年度）でMRワクチンを接種。

MMRワクチン：麻疹・風疹・おたふくかぜワクチン、MRワクチン：麻疹・風疹ワクチン

国立感染症研究所 感染症情報センターより